



国劳石川

国鉄労働組合 石川県支部
発行人 大巻道秋
編集人 後藤通広
2023年6月20日 26-NO.12

貨物会社

夏季手当 1.62ヶ月分

低額回答に不満続出 これでは生活できません！



貨物会社は、6月16日に「2023年度夏季手当の支払いに関する申し入れ」(国労闘申第12号)に対する回答として、「基準内賃金の1.62ヶ月分、7月7日支払い」の低額回答を行いました。

この回答は、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」及び「JR貨物グループ中期経営計画2023」のもと、経営課題を前面にして、昨年度決算の厳しい結果を強調し、労働者・家族に一層の犠牲を転嫁するものです。

石川県支部は、「2023年度夏季手当」低額回答への抗議と再考を求める要請書を、貨物本社と関西支社に要請しました。

「2023年度夏季手当」低額回答への抗議と再考を求める要請書

6月16日、貨物会社は、「2023年度夏季手当の支払いに関する申し入れ」に対して「基準内賃金の1.62ヶ月分」とする低額回答を行った。

コロナ禍における円安や原油の高騰は、生活必需品のみならず光熱費の値上げも実施され、日本経済全体が疲弊しきってきている。2023年春闘において、多くの企業が満額もしくはそれに近い回答を行ってきた中で、貨物会社も有額回答を行った。しかしその額は平均1000円であり、物価高騰に追い付いていない。日々の生活の改善のため、夏季手当での満額回答を多くの労働者が期待していただけに、その思いを裏切るものでしかなく、昨年を下回る低額回答は、労働者のやる気を削ぐだけでなく、今後の会社経営にも直結するものと指摘しなければならない。

今回の低額回答は、より一層の労働者犠牲を強めるもので、JR発足からの最高益を上げて、業績の還元を行っていないのは、この間の交渉経緯を反故にするものだけでなく、矛盾に満ちたものである。

交渉では、昨年度決算の厳しい結果を強調しているが、営業収益は増加しており、これまでの倍の金額を投入している設備投資をはじめとした経費が、大きく影響していることは明らかである。昼夜を問わず懸命に働く労働者に正に還元しない姿勢は、日々安全輸送を最前線で支える労働者感情を逆撫でするものであり、国労石川県支部は強く抗議し、再考すること強く要請するものである。

以上